

# 藝文いちかわ

市川市芸術文化団体協議会は、市内における各種芸術文化団体相互の協力と理解を深めるとともに、市川市の芸術文化の振興に寄与することを目的とする。

## ご挨拶



市川市芸術文化団体協議会名誉会長

市川市長 村越 祐民

市川市芸術文化団体協議会は、長きにわたり本市の芸術文化の普及並びに発展にご尽力頂いてまいりました。能村会長をはじめとする会員の皆様により、地域に根差した活動が続けられていることに深く敬意を表します。

本協議会は、市川市内における各種芸術・文化団体の相互協力と理解を深め、本市の芸術文化の振興に寄与することを目的に設立され、多くの市民や団体が芸術文化活動に励むことができるよう、活動の場の創出に努めております。また、毎年秋に八幡市民会館において開催されている「芸術文化集会」をはじめ、市民が身近に文化に触れることができる行事を数多く開催しております。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民まつりや行徳まつりといった行事が中止となつ

ており、芸術文化活動の面においても、自粛や縮小を余儀なくされております。文化は人々の生活に心のゆとりや豊かさを与えるものであり、現在のような状況だからこそ、本協議会の取り組みを含む「文化の力」でたくさんの方々に感動を与える日々が一日でも早く戻ってくることを願ってやみません。



## コロナに負けない文化活動

市川市芸術文化団体協議会

会長 能村 研三

市川市芸術文化団体協議会は本年二月に四回目となる「天空文化祭」をアイルンクタワー45階の展望室において十三団体の参加を得て開催され多くの市民の皆さんにご来場いただきました。この頃新型コロナウイルスの感染がクルーズ船の中で発生しましたが、それから六か月が経った現在も新型コロナウイルスは日本の各地域で猛威を振るっております。私たちはかつて経

験したことのない恐怖に、私たちの日常は一変しました。四月には「緊急事態宣言」が発令され外出自粛等で日常生活に多大な影響を受けました。現在宣言は解除されたものの、感染の恐れが消えたわけではなく私たちの行動も慎重にならざるを得ない状況です。日常生活に多大な影響を受けられている会員の皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

今後予想される第二波、第三波を考えますと今後の行事計画の確定ができないことも心痛の思いであります。

私たちが志向する文化活動は本来人の和をもって始まり、和をもって終わるとされています。お互いに膝を交えることで、お互いの文化活動が刺激されよりよい市民文化を形成することが出来ます。

このことは、コロナ対策で言われる「三密」とは自ずと矛盾するものであります。やはり私たちの健康が第一であり、コロナが終息するまでは我慢をしなければなりません。

コロナウイルスの感染を防ぐには、もうしばらくの辛抱が必要であるようですが、こんな時こそ文化活動を志向する人たちは、ポジティブな気持ちで向き合っていかなければならないと思います。





## 本年度は「紙上大会」に

市川市俳句協会 事務局長 町山 公孝

コロナ感染予防のため、市川市は規模集会施設の使用を中止、例年のような俳句大会は開催不能に。しかし今年で72回目となる市民俳句大会を中断するのは市川市の文化の危機ととらえた市川市と市川市俳句協会は、市川の俳句文化の継続と向上のために本年度は「紙上大会」として、市川市市民俳句大会を開催することとした。

8月中旬から募集を開始、9月末に締め切り。特別選者（市川市俳句協会会長・副会長・顧問）、ならびに委嘱選者による選をもとに、1位市長賞、2位議長賞、3位教育長賞、以下20位までを表彰、特別選者の特選句には短冊が贈呈される。11月末までに成績発表と作品集を発行する。



第26回文化集会



## 合唱で継ぐ音楽いつばいのまち

市川市合唱連盟 常任理事 古畑 功

三十年以上続いた花見が、今年ついに途切れた。近所の歌好きの仲間たちと毎月一回、自宅に集まっている歌の会。今年も三月末にどこかに行こう、と相談がまとまっていた。この三十年間、隅田川、新宿御苑、目黒川沿いなど有名なところは全部見物しているが、肝心の地元が抜けていることに気が付いた。それでは今年は地味ながら「行徳駅前公園」に行こう、ということになっていた。こうなれば、花より団子。花見もさることながら公園近くの店でいっばい飲めるわいと、誰もが思った。ところが、例のニュースである。花見で一杯はおろか、歌を歌うことさえできなくなかった。

一方、公民館を練習場所に行っている合唱団はもつと大変。公民館が閉鎖されたのである。後に公民館は再開されたものの、合唱の練習はできない。合唱は「三密」そのものであり、もう四カ月以上にわたる声を出していない。合唱連盟の広報誌にも練習中止を憂える一方、友人とともにこの危機を乗り越えようという決意が多数記されている。コロナウイルスなんかには負けないぞ。来年は花見も歌も復活だ。



うたのひろば「クリスマスに寄せて」  
市川市合唱連盟合唱団  
(協力：合唱団ノア 加盟団体有志)

## 創立七十周年を迎えて

市川市花道協会 理事長 野口 春和

令和2年2月2日（日）創立70周年記念式典・記念祝賀会を市川グランドホテルにて挙行いたしました。

その後、3月6日（金）～8日（日）まで文化会館で行われる第75回いけばな展の準備に着手し始めていた矢先、新型コロナウイルスの流行拡大が報じられるようになり、実行委員会は報道を注視しながら準備を進めて参りました。

花席台の配列、出品者名簿、ポスターの印刷など、すべてが出来上がりました。中止と決断した時点でのエネルギーは大変なものでした。

2月上旬の祝賀ムードからは、想像もできないような社会の変革をもたらす疾病の流行です。

いけばなの発祥は室町時代の生活様式の変革、人々の考え方の変化にあると言われております。

現在では、ホテルのロビーなどにいけばながあります。共通点は「憩い」です。野にある草花に芸術性を追求するいけばなは、時代の変化に合わせてつづき、次の世代に受け継がれていくものと確信しております。



第26回文化集会

## コロナの中、皆さまと共に新しい光を求めて

市川オペラ振興会 理事長 木村 珠美

今年、新型コロナウイルスで、大変な年となっておりまして。おそらく戦争を経験された方々は、それ以来の大変な暮らしぶりとなっておられるのではないのでしょうか。このような状況下におきましては、市川オペラ振興会も発足以来の初めてのことで、クラシックのオペラ歌手にとりましては、飛沫感染等々、ほとんどすべてのオペラ公演やコンサート等が中止となっております。

私共歌手にとりましては、お客様の前で歌わせていただくことで、お客様と音楽のすばらしさや喜びを共有させていただき、またそれが励みとなり、歌手として舞台人としての能力等を磨くことが出来るのです。

どうぞ一日も早くこの新型コロナウイルスが収まり、平穏な日々が戻ってまいりますようお願いいたします。

皆さまのご健勝を心よりお祈り申し上げます。



2019年公演 オペラ「トスカ」2幕



## 民話で知る市川の魅力

市川民話の会 吉井 正昭

いまや、人生一〇〇歳の時代、定年後これからの長い人生いかに生きるか。公民館講座で知った「市川民話の会」「市川案内人の会」に入会しました。

民話で知る 市川をもっと知ろう

市川を知れば知るほど、市の全域に地域の歴史、史跡、伝統行事、残された貴重な自然があり、脈々と人々により守り伝えられています。市民と街歩きをし、時に地域に伝わる「むかし話」を語ります。大野町の駒形大神社に伝わる「にらめっこおびしゃ」は、江戸時代から三五〇年以上の歴史があり、代々氏子たちによって踏襲されています。ここには「ムラと生活」が地域に生きていくとこととです。

市川には平将門伝説が数多く残されており、「八幡の藪知らず」などさまざまな言い伝えが語られています。その他『市川のむかし話』には

○万葉集に歌われている手児奈伝説

○梨の始祖 善六さんの伝承

○日蓮聖人と百座説法の伝説、聖人ゆかりの中山法華経寺

○寺一〇〇軒の行徳のむかし話

コロナウイルス終息の折、『市川のむかし話』を手に、歴史や自然を体感し、見つめ直せば、地域の魅力を再発見でき、「新しい生活」のスタートとなるかもしれせん。



テレビ東京  
「なないろ日和」  
に会員が出演

## リモートレッスンで活動

市川市洋舞踊協会 会長 荒木 洋子

非常に残念なことに、令和2年3月29日(日)開催予定の第37回市川市洋舞踊合同公演が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になりました。本番に向け準備がほぼ整った状態でしたので教師、生徒共に大変落胆致しました。

3月以降の休校、自粛期間には各団体オンラインでのリモートレッスンなどの活動を続けておりました。自粛解除になっても感染防止対策をしながらレッスンを続けております。

来年3月の合同公演では各団体の個性を出し、お互いに刺激を受けながらより魅力的な舞台を創り上げ、多くの方に楽しんでいただきたいと思います。



第33回市川市洋舞踊合同公演

## 市川市手工芸連盟・つなぐ心

市川市手工芸連盟 理事長 和氣ミユキ

○ 令和2年1月13日

総会

創立35周年記念祝賀会

順調にスタートしましたが、2月に入り新型コロナウイルスの猛威に翻弄される日が来るとは想定外でした。

私どもの会も

○ 春の作品展(3月)中止

○ 市川市手工芸公募展(9月)中止

に追い込まれました。

個人的には自粛で有り余るお家時間を家庭菜園に励んでおります。

5月に苗を植えたサツマイモを掘る頃(10月)には、コロナも下火になってほしいと願うばかりです。

○ 作品展とチャリティ販売

12月16日〜20日 全日警ホールでの準備に会員一同入っています。



市川市手工芸公募展の様子

## 市川交響楽団協会

市川市交響楽団協会 副理事長 星 乘昭

市川交響楽団協会が令和2年度に開催予定であった、12の演奏会のうち、6つの公演が中止となりました。

7月6日予定だった市川交響楽団の定期演奏会は、8月23日に延期して、大勝秀也指揮シューマン作曲交響曲第2番、モーツァルト作曲「イドメネオ」のため5つの舞曲を市川市文化会館大ホールで行ないました。

練習は文化会館大ホールや、大会議室などの広い会場で行い、演奏者人数も団員の半数以下で、3密にならないように十分な対策をとって行われたのです。今年度のテーマである「今こそ芸術・文化の力を」を、市川交響楽団はこの困難の中であるからこそ実践しました。

市響は村上正治先生が昭和26年に創設して以来70年間財政難等で苦しい時があっても、一度も休むことなく400回以上の定期演奏会を続けてきました。この誇りと、不屈の信念を受け継ぎ、今回財政援助のない中で演奏会にこぎつけたのです。

ドイツのメルケル首相は3月の時点で経済と同じく芸術・文化を重要視すると、述べられました。ここに日本とヨーロッパの芸術・文化に対する対処の差を感じたのです。



天空の文化祭 2019  
市響フェアリーズ

## 今こそ芸術文化を育てて行こう！

市川市芸能協会 会長 稲葉 健二

コロナ禍の中、文化芸術の流れは静かに止まっています。私たち市川市芸能協会は全て舞台で表現する活動です。また、マスクやフェースシールドをした活動が難しい分野が多いのも特徴です。

世の中が「自粛」という言葉で埋め尽くされている状況の中、どの団体も練習ができずにいます。練習場も人数制限や音の制約など、とても活動が進めないような状況にある中、「あきらめないで灯だけは消さないでいよう」と思いながら耐えています。ソーシャルディスタンスを考えると、とてもステージをつくれな団体もあり、「新しい生活様式に合うステージ」づくりを模索しています。

自粛、イベントの中止・延期、感染の不安の社会の中で、心を閉ざすことなく、集団で演じる、大きな声で歌うなど、こんな当たり前のことが自由にならない状況ではありませんが、

このような時こそ、たとえ小さな歩みでも前に向かって、「今こそ芸術文化を育てて行こう！」と思う毎日です。



第4回八幡芸能祭



## 来場者全員が審査に参加する展覧会

輪の輪工芸美術会会員 田草川 信慈

新型コロナウイルスのせいで四月から六月まで長くステイホームを余儀なくされました。その間、創作者はむしろじつくりと創作に励むことができたかもしれません。創作したら発表したくなります。しかし、展覧会も美術館も閉鎖が続きました。

それでもやつと、六月中旬には公共の各美術館が再開され、芸術鑑賞に飢えた人たちに大人気のようにです。私たちの「公募第34回輪の輪展」も六月下旬に開催し、たくさんのお品と鑑賞のための来場をいただきました。

特筆することは、来場者全員が審査に参加した「市民奨励賞」です。来場者は今まで以上にいいねいに鑑賞し、真剣に悩みながら一票を投じていただきました。一方、出品者としては、一般市民の鑑賞者がどのような評価をし、どんな作品を選ぶのか、とても気になったものです。

来場者に審査の感想を聞くと、「あれもこれも良かったけど、やっぱり自分としてはこれが一番好き」などと率直な意見をいただきました。来場者が審査に参加することで、出品者も鑑賞者も共に楽しめる展覧会になったと思います。



市民奨励賞



内田一孝奨励賞

## 新型コロナウイルス禍に於いて

芳香社 岡野谷 由美

今年、6月に開催する予定だった国立新美術館での展覧会が新型コロナウイルスの影響により来年に延期になりました。1月頃から旅の思い出を題材に構図を考え、四苦八苦ししながら大作業を描き上げましたが延期の知らせで発表する機会がなくなり気が抜けた感がありました。

そして、夏に開催する市川市文化会館での芳香社展も延期になり、毎年、会場に来てくださる方々やワークショップで絵を描かれる方々に楽しんでいただけないことが残念です。

このワークショップには、夏休みの小学生が多く、墨に親しんで無心に描いている姿が印象的でしたが今年はその姿が見られないのが寂しく感じられます。

しかし、このような状況でも絵を描くこと、まして芸術にふれることが心のゆとりになり活力ある日常になるので、一日も早い終息を祈りつつ、いつも通りの活動が出来ることを願っています。



第40回芳香社展 2019年  
ワークショップ風景

## リモートでお稽古

装道礼法きもの学院 市川支部長 工藤エミ子

今年のコロナ禍で全ての勉強会や行事が休止に追い込まれています。日本のシンボル「和」の美しさを成田から発信する年2回の行事も休止状態となりました。とても残念な日々となりましたが、その厳しい環境の中で、勉強会は「ネット授業」映像をネットで結び21世紀にふさわしい方針に切り替えてみようと思えました。海外にもネット配信ができるならばもつと未来につながるのではないかと考えております。

早速、着装教室をラインでリモートのお稽古を開始してみました。各々自宅にいながら、生徒同士も話ができ、密にならず、自由に楽しみながら勉強に取り組んでいます。ストレスもなくお稽古できることで、学びの進みが早く楽しい時を過ごしているようです。

こうして、先を見いだせない中でもやれることにチャレンジしてみようと思いの外、前に進めることがあるのだと喜んでおります。

今後新しい手段を見つけて、日本の「和」の発信に前進して参りたいと思います。



第26回文化集会





## コロナ禍を見据えて

宗左近・蕊の会 伊東美佐子



第26回文化集会・展示



天空の文化祭2020・対談

宗左近・蕊の会は市川市芸文協に加盟して四年目となりました。市川市内で様々な文化活動をされ、鍛錬の成果の発表を目指す団体とは異なり、「宗左近氏の研究顕彰する」という民間団体です。市川市内での文化を語る時に、実はこの宗左近という詩人が多様な文化活動の種を蒔いてくれた事を、今このコロナ感染の危機にもう一度振り返り、これから市民の方々と共に文化活動を前に進める際の一助となることはないかと考えています。

(この宗左近氏の文化活動に対し、平成十六年「市川市名誉市民」の称号を授与) コツコツと地道に得意なジャンルの中で技術の継承とレベルアップに邁進している方々へ「夜の虹」(宗氏が提唱した「夜の虹賞」による名称から)の光を当てること、もつと日々の素晴らしい活動に虹を架けることはできないかと望んでいます。

既に「天空の文化祭」では宗氏と共に文化活動に携わった方々をお招きして当時のお話を伺う会を重ねてきましたが、今後も宗左近スピリットに共感された方々の貴重なお話を拾い集め、ご紹介しながら、芸術文化がコロナ自粛に萎縮されないよう、文化の灯火が変わらず燃え続けることを願っています。

## 新型コロナウイルス禍の和心会(奮闘努力の昨今)

和心会 紫翠庵 佐藤 和子(宗和)

本当なら、一服の茶を喫して癒される處なのに、世の中が危険な感染禍の中、中断を余儀なくされ、癒されない處となりそうでした。感染拡大の情報をえられたので、今年2月下旬からの各々の行事が開催されるはずでしたが、軒並み、中止せざるを得ませんでした。

なんととしても日本伝統文化の茶道を絶やすことなく、お稽古が意気消沈する事なく、平穩無事に出来るようにすべくと考えたあげく、とりあえず、皆さん各自、自宅で自主稽古をし復習をする事や私の自宅茶室でリモート稽古はどうかや茶道論の講義を開催する事等々と試行錯誤しました。

長い自粛の日々を経て、緊急事態宣言が解除になり、今は、厳重な感染防止策のもとですが、自宅の稽古場で茶道論の講義を開講したり、お点前の稽古を実践したりと励んでいます。お稽古をしあう中で、もてなしの心にふれあい、清々しさを感じるひとときを過ごしています。

この感染禍の事態が早く終息し正常な日常生活を取り戻せます様にお祈りしています。



第26回文化集会 茶席

## 二〇一九年度 バス研修報告

担当団体 宗左近・蕊の会 伊東美佐子

バス研修の直前に、目的地とした千葉県山武市に続々と台風被害のニュースが飛び込んで、無事にバス運行が可能だろうか、ご迷惑、ご負担とならないか、大変心配致しましたが、お陰様で予定通り、お天気にも恵まれ、二〇一九年十月十五日に皆様のご協力を得、実りある研修となりました。

山武市は歌人伊藤左千夫の生誕地という事で、山武市歴史資料館の方から左千夫に関する講義を拝聴し、左千夫縁の民俗資料館、今回特別に参加者の名前入りの酒瓶を用意した守屋酒造の見学、最後に左千夫記念碑の建つ九十九里海岸、道の駅・オライはすぬまに立ち寄りまし。盛り沢山でしたが、楽しい懇親も広がり、無事に市川へ帰還できました。改めて、関係者、参加者の皆様にお礼申し上げます。



## サポート会員を募集しています！

### 個人サポート年会費1口2000円(何口でも可)

市川市芸術文化団体協議会(通称:芸文協)は、昭和49年に、「文化都市いちかわ」の芸術文化振興の中核を担うべく、設立されました。以来市川市の文化芸術の原動力となり、市民の皆様と共に文化振興の一役を担って参りました。

加盟団体間の連携、情報共有をはじめ、芸術文化の振興ための事業を行っています。「文化集会」「天空の文化祭」を開催するとともに、加盟団体同士でコラボして、新しい芸術文化を進めています。今後のさらなる発展に向けて、より多くの皆様のご協力を頂きたいと思っております。

加盟団体の所属に関わらず、「個人維持会員」として、芸術文化を応援して頂けましたら嬉しく思います。

※御協力頂けます方は、下記の事務局まで、御連絡を 頂けましたら幸いです。

編集・発行 市川市芸術文化団体協議会

事務局 〒272-0021 市川市八幡 4-9-17 酒井玄枝方 TEL047-334-7832 HP <http://www.geibun.org>

### 芸文協 維持会員氏名

2019年～2020年9月現在

協賛企業: 山崎製パン株式会社・塚本建材株式会社(順不同)

荒木洋子・酒井玄枝・能村研三・星乗昭・本池美佐子

内田一孝・田中愛子・中津牧子

伊東美佐子・菅原玲子・田草川信慈・戸矢晃一・町山公孝

数長藤代・木村珠美・千田百里・峰崎成規(各別毎50音順、敬称略)



# 市川市からの トピックス

## 「市川市芸術祭・文化祭」事業のご紹介

市川市では、市内文化団体の発表の場を設け、広く市民に参加を呼びかけ交流を図るとともに、団体の育成と文化芸術活動の活性化を図ることを目的に「市川市芸術祭・文化祭」を開催しています。

当行事は、市内文化団体と市川市との共催行事として毎年27行事を開催しており、市川市芸術文化団体協議会が開催している「芸術文化集会」もその1つです。

現在市内において新しい文化団体が増えてきています。本市といたしましても、「市川市芸術祭・文化祭」の再編を含めた、団体への新たな支援の形を模索しているところであり、文化都市 市川の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

## 文化会館の大規模改修に伴う休館と

### 仮事務所のお知らせ

市川市文化会館は1985年の開館から30年以上が経過し、施設・設備の老朽化が進んでいたことから、令和2年10月から令和4年3月末までの1年半を休館期間として、大規模改修工事を実施しております。

おもな改修内容は、天井脱落防止対策工事、空調設備の更新、トイレ改修、大ホール用エレベーターの設置及び客席までの導線スロープ化、ホール客席更新、舞台設備更新などです。

そのうちの舞台設備更新については、バトンの許容荷重の変更や音響設備及び照明設備などにデジタル機器を導入することにより、幅広い演出ニーズに応えられるようにするものです。

また、休館期間中は文化会館への立ち入りができませんので、予約については下記の仮事務所にて受け付けます。

皆様には大変ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力のほどよろしく申し上げます。

#### 【仮事務所】

所在地 市川市南八幡3-12-21 MC本八幡5F

電話番号 047-379-5111 ※変更ありません

受付時間 9:00～19:00

休所日 第2・4火曜日(祝日の場合は開所)  
年末年始(12月28日～1月4日)

## 〇ご報告〇

当協議会副会長であります、星 乗昭氏(市川市交響楽団協会 副理事長)が、令和元年度 千葉県芸術文化団体協議会の「文化芸術功労賞」を受賞されました。

今までの御功績に感謝するとともに、今後益々のご活躍を祈念致します。

# 天空の文化祭 2021



市川市芸術文化団体協議会加盟団体による展示と公演

令和3年2月12日(金)～14日(日)

アイリンクタワーウェスト45階展望室

地上45階での、芸文協加盟団体の、展示や公演と

市川市が誇る眺望をお楽しみ下さい!!

## ★芸文協よりお知らせ★

〇天空の文化祭2021の開催を予定しておりますが、新型コロナウイルスの感染拡大状況により中止することもありますので、ご了承ください。

〇開催内容等詳細は、後日お知らせ致します。

〇開催中は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、出演者も御見学者の方も、手指消毒、検温、健康シートの記入等の御協力をお願い致します。

## 市川市芸術文化団体協議会 加盟団体

市川市花道協会

市川民話の会

市川市洋舞踊協会

市川市手工芸連盟

市川市芸能協会

芳香社

宗 左近・蕊の会

市川交響楽団協会

市川市合唱連盟

市川オペラ振興会

市川市俳句協会

輪の輪工芸美術会

の学院千葉県認可連盟市川支部

和心会～紫翠庵